

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・瀬戸内地域は、輸出先ターゲット市場において魅力的な農林水産物が豊富であるが、農林水産物事業者・加工品事業者は輸出への関心や意欲が低い。
- ・6次産業化の取組については、限られた事業者のみで不定期の実施となり継続性がない。
- ・GFPやJETROの支援メニューについても当該地域では活発に利用されていない。

【課題】

○もも

- ・生産：選果場・園地の登録、残留農薬基準への対応の統一、主力品種の日持ちが悪い、モモシンクイガの防除、他産地との差別化。
- ・物流・販売：農家が国内販売優先で輸出に消極的、収穫期が天候に左右され、納期を守れない、輸出時の時間的・物理的損傷、輸出商流が複雑で時間がかかる。

○加工品

- ・生産：原料果実の確保。
- ・加工：付加価値を付与できる加工技術などがなく、販売価格を上げられる要素がない。
- ・物流・販売：小口な受注となるため、割高な物流となる。

2. 輸出事業計画の取組内容

【取組内容】

○もも

- ・生産：輸出取組農家の確保、選果場・園地の登録、農薬使用の統一化、輸出に好適な品種への改植の推進、モモシンクイガの防除に係る適切な薬剤使用と袋掛け栽培、バイオスティミュラント資材の活用や、カーボンファーミング農法の導入検証。
- ・物流・販売：長期輸送に適した包材の準備、輸出前提の作付契約の増強、輸出に向けた品種の絞り込み、岡山空港・水島港の活用、WEBプラットフォームの提供による輸出関連情報の一元化。

○加工品

- ・生産：原料果実生産に係る省力化した栽培体系の提案。
- ・加工：パティシエ等の専門家からのアドバイスによる付加価値の向上。
- ・物流・販売：国内拠点に貨物を集約し、輸出専門商社との取引構築。

輸出事業計画

※申請者名：瀬戸内エリア農林水産物輸出推進協議会

品目：青果物（もも）、農産加工品（果汁ゼリー、果汁ジュース）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

瀬戸内エリア農林水産物輸出推進協議会

合同会社瀬戸内
マルシェ

elims株式会社

おかやまおひさま
ファーム株式会社

連携支援



海外支援

生産者連携
商品供給事業支援
コンサルティング

岡山県

日本青果物輸出推
進協議会
JETRO海外
プラットフォーム農林水産物生者
加工食品事業者MOMONOトレーディング
（輸出事業支援）
ワイズアグリ
（有機農業技術支援）

4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

品 目		現状年（令和4年度） 令和4年4月～5年3月	目標年（令和8年度） 令和8年4月～9年3月
青果物 （もも）	輸出額（千円）	—	35,000
	輸出量（kg）	—	20,000
	輸出国先	—	台湾、香港
農産加工品 （果汁ゼリー、 果汁ジュース）	輸出額（千円）	6,400	12,900
	輸出量（kg）	12,800	24,000
	輸出国先	台湾、香港	台湾、香港